

ホームページ顛末記

2008. 6. 準備委員会

I. はじめに

ホームページの話が始まったのは、昨年末の「鹿間町元気になる会」の年末謝恩会の席でした。同席した市民センターのSマネージャーと自治会副会長のY氏との間で、小山田地区にもホームページが必要であることを話し合いました。

たまたまY氏が勤務する名古屋の事務所に、ホームページを管理・運営する部門があったので、いろいろとアドバイスと支援を受けることとしました。

正月明けからは、ホームページ作成に理解と技術のある人を探し、ホームページ準備委員会の設立を進めました。

以下に現在までの準備の進行状況を、スケジュールに沿って記述します。

第1回準備委員会開催 1月29日

メンバー：山家多喜男(鹿間)、矢田義秀(山田)、中田 正(和無田)
矢田恒生(内山)、大谷いずみ(小山)、松野照美(西山)
清水桑子(センター)、田中晶子(団体)、田中美祈(団体)

検討事項 1)ホームページ素案(ビルダー11)の検討
2)各団体の活動紹介の作成依頼
3)他地区の現状確認 等

第2回準備委員会開催 2月14日

検討事項 1)進捗状況の確認
2)記事の作成手法 等

第3回準備委員会開催 3月 7日

検討事項 1)進捗状況の確認
2)各団体の記事作成状況
3)プロバイダーからのアドバイス 等

地区社協・役員会説明 4月11日
プロジェクターによる説明・PR

第4回準備委員会開催 5月 8日
検討事項 1) ホームページ開設準備日程(週間)の確認・決定
2) 記事作成分担・期限の確認

第5回準備委員会開催 6月 5日
検討事項 1) プロバイダーの選択
2) 地区社協総会での承認
3) 管理委員会の人選、承認手続 等

第6回準備委員会開催 6月13日
検討事項 1) プロバイダーの決定
2) ホームページ案の最終確認

ホームページ管理委員会・準備委員会開催

6月19日

メンバー：萩 伸元（連合自治会会長、地区社協会長）
清水 正（連合自治会副会長）
北尾 喜子（地区社協副会長、文化広報部長）
古川 隆夫（地区市民センター館長）
山家多喜男（準備委員会代表）
矢田 義秀（山田町） 中田 正（和無田町）
大谷いずみ（小山町） 松野 照美（西山町）
清水 桑子（センターマネージャ） 田中 晶子（団体事務員）、
検討事項 1) ホームページの契約決定
2) ホームページの最終確認等

ホームページ開設に伴い、準備委員会を運営委員会に名称を変更する。

以上

Ⅱ．システムの構成等について

このホームページは、小山田地区の地域活動を活性化し、元気にするために、すべての組織・団体が共有して活用できるよう構築しました。

はじめに、ホームページの母体を地区社会福祉協議会の傘下に、ホームページ委員会として設置し、内部に管理委員会と準備委員会を設けました。

全体の構成は、

1. 小山田の今昔・・・地区の概況、名所案内、歴史、産業等を紹介
2. 自治会・・・各町自治会の活動計画、報告の紹介
3. 社会福祉協議会・・・各部の活動紹介、地区広報の開示、行事案内等
4. 各種団体・・・各種組織・団体、少年少女クラブの活動紹介、
5. 市民センター・・・施設・業務の紹介、市広報等の開示、ごみ収集等
6. サークル活動・・・センターを窓口とする各種サークル活動
7. ボランティア活動・・・介護・子育て等の支援活動
9. 防災と安全・・・地区防災連、自衛消防団、交通安全等の活動 等に区分して、活動報告や行事案内等を記載します。
8. サイトマップ・・・リンク集も含む
に詳細な項目を記入し、関係先へのリンクも付記しました。

また、閲覧者の参加・交流の場として、仲間紹介や仲間募集のコーナーを設けるとともに、気軽に話題を交換できる「談話室」を開設しましたが、携帯電話等で自由に書き込みのできる「ブログ」は、管理が困難なので当面は中止します。

先ずは素人集団による「手作りホームページ」としてスタートしますが、これを機会に地区の皆さんの中で、町づくりに興味や熱意のある方や、ホームページ作製の経験や技術のある人の、積極的な支援を期待しておりますので、よろしくお願いいたします。

Ⅲ. 広報『おやまだ』をふり返って

ホームページを開設する目的は、小山田地区の情報の交流を円滑に・効率的にすることにあります。そこで、この地区で過去に発信された情報を調べてみると、広報「おやまだ」の重要さがわかりました。

幸い創刊1号～最新号28号まで保管されていますので、この記事を手ホームページに掲載し、過去の活動内容等を知ってもらう事により、これからの地区活動に活用していただきたいと思います。

まず、全号・全ページをPDFに取り込み、それらを各号毎に割り振って、全号を掲載しました。＜トップページ⇒社会福祉協議会(以下社協と略す)⇒広報⇒各号＞
＜＜トップページ ⇒ 広報 ＞＞

次にそれらの全記事の目次を、記事タイトルを基準に号・ページ順に一覧表、にしました。これは記事のままにまとめたもので、多少の差異は含まれていますのでご了承願います。 ＜トップページ⇒社協⇒広報⇒総合目次＞

地区活動の歴史であり、財産である広報「おやまだ」を、積極的に活用していただき、これからの地区活動の発展に寄与していただければ幸いです。

IV. 小山田の歴史・遺跡について

ホームページを開設することについて、部外者にいろいろと意見を聞いてみましたが、特に他地区の活動には関心は無いが、その地区の歴史や名所などに興味を持っていることがわかりました。

早速手分けして地区や各町の歴史情報を集めていましたら、それぞれの町に郷土史愛好者が居られることがわかりました。

そこでまず始めにお話をお聞きしたのは、山田町・安性寺の竹内住職でした。師はすでに小山田ぴあホールで矢田監物物語を披露されており、庫裏の奥には苦心して制作された、立派な歴史年表が展示してありました。

事前に歴史年表の画像データを入手していたのですが、業務用の印刷画像のため容量が大き過ぎて、一般のパソコンでは機能停止することがわかりました。そこで、ひと通り説明を受けた後、許可を受けて写真を撮影し、ホームページに掲載することとした。

＜トップページ⇒小山田の今昔⇒歴史⇒年表(2)＞

＜＜トップページ ⇒ 歴史 ＞＞

また前館長や、地元有志の方より地区の歴史をまとめた資料を提供していただきました。

＜トップページ⇒小山田の今昔⇒歴史⇒各町の歴史、年表＞

つぎに、準備委員の小山町・大谷さんの娘さんが、8年前の小山田小・6年の時に同級生と共同で、四日市市の社会科学習展に「小山田の遺跡」について発表したものを提供してもらいました。よく出来た作品なので、ホームページに掲載することとした。

＜トップページ⇒小山田の今昔⇒歴史⇒遺跡(2)＞

この作品を見て、初めてこの地区で旧石器時代や、縄文時代の遺物が採集されていることを知りました。現在は道路や畑になっていて、遺跡の面影は見当たりませんが、参考のために遺跡関連の資料を整理し掲載することにした。

＜トップページ⇒小山田の今昔⇒歴史⇒遺跡⇒一覧表＞

＜＜トップページ ⇒ 遺跡 ＞＞

以上のような資料を参考にして、地区の皆さんが歴史や遺跡に関心を持たれ、さらに郷土史に興味のある方には、下記の要領で会員募集をいたします。

＜＜トップページ ⇒ 郷土史愛好者募集 ＞＞